

津久戸

平成30年8月27日

8, 9月号 新宿区立津久戸小学校

「災害から学ぶこと」

校長 牧田 健一

夏休みも終わり、今日から2学期が始まりました。子どもたちの元気な声と笑顔、あいさつを聞き、私も力が湧いてきました。

さて、日本には四季があり、その季節ごとに織りなす様々な表情が、自然の豊かさや日本に住む人々に心の豊かさを与えてくれます。しかしその反面、自然災害がとても多い国でもあります。特に、6月下旬から7月上旬にかけて西日本各地で豪雨や大阪北部地震のため被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。

この夏は猛烈な暑さ（気象庁では災害級と言っていました）や豪雨等、私たちが経験したことのない気象状況が続きました。また、地震が少ないと思われていた大阪北部地震もありました。しかし、今や「未経験」、「想定外」という状況に対しても、私たちは、経験を基にした「命を守る」新たな対策を考えていかなければなりません。ただし、新たな対策の前に絶対に必要なことは、「自分の命は自分で守る」という意識の定着です。東日本大震災では、釜石の奇跡と呼ばれたように、日頃からの防災教育が多く命を救いました。本校でも、意識の定着のために、避難所開設訓練への参加や、毎月1回の避難訓練を行っています。訓練の想定を変えるなど工夫して行っていますが、今後もさらなる工夫が必要になると考えています。8月31日（金）には、引き取り訓練も行われます。児童の意識を高めていくためには、保護者の皆様にもご協力をいただき、より効果のあるものにしていきたいと思っております。今学期も様々な教育活動が展開されます。保護者・地域の皆様におかれましては、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

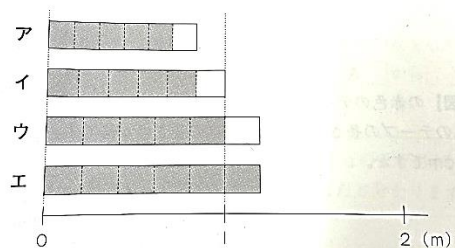
算数少人数から

3年生の学習内容に、「分数」があります。昨年度、「先生、 $\frac{3}{4}$ と $\frac{3}{4}$ mの違いがよく分からない。」と質問をしてくれた子がいました。

皆さんはその違いをどう説明しますか？

言葉だけの説明では、なかなか伝わりにくいことがあります。そんな時には図を使うのも有効です。しかし、きちんと理解できていなければ、図を使った説明でも伝わらないことがあります。下の問題は今年度の都の学力調査で出題されたものです。

- (2) 次のアからエまでのテープがあります。色をぬったところが $\frac{5}{6}$ m になっているものとして最もふさわしいものを、アからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。



図から正しいものを選ぶものですが、正答率はあまり高くありませんでした。

本校の児童は学力調査などでも良い結果を出し、特に計算单元などは抜群です。言葉だけでなく、図なども活用して分かりやすく説明できるように、確かな理解、学力が得られるように授業の工夫・改善に努めていきます。

今年度の研究について

校内研究は、学校の教育目標の具現化を目指し、教師が共同で取り組む研究活動です。今年度も、昨年度に引き続き「対話的・主体的で深い学びを実現する授業づくり～各教科における学校図書館の活用～」としました。低・中・高学年分科会にそれぞれ専科教員が加わり、研究を進めています。

読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにするものです。人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもので、津久戸小学校で大切にしていることです。

教育課程を編成する際の基準となる学習指導要領は、約10年ごとに改訂されます。再来年度から全面実施となる新学習指導要領は、「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」、その結果「何ができるようになるか」の視点で改訂されました。そこで、津久戸小学校の研究でも、新学習指導要領を意識し、本校の特色でもある学校図書館を活用した授業を通し、児童一人一人の課題に応じた「主体的・対話的で深い学び」を実現させていけるように研究を進めていきます。

夏季施設を終えて



8月6日(月)～8日(水)に夏季施設(女神湖高原学園)がありました。5年生にとっては心待ちにしていた初めての宿泊行事ということもあり、1学期から楽しそうに準備を進めてきました。

1日目。フィールドアスレチックで体を思い切り動かし遊んだ後、耕福館でほうとう作りをしました。自分たちでこねたり切ったりして作り上げたほうとうは、格別の味だったようです。予定通り女神湖に到着し、興奮しながらにぎやかに入浴。夜のキャンプファイヤーでは、部屋ごとの出し物(歌やダンスやクイズ)で盛り上がり、炎を囲んで輪になって踊りました。

2日目。車山ハイキング。心地よい風を感じながら無事全員が登頂。雲海の広がる山頂の景色は幻想的でした。下山のリフトでは疲れも吹き飛び、すれ違う人と元気に挨拶を交わしたり「ヤッホー」の声が響いたり子どもたちは大満足の様子でした。長門牧場では、動物を間近に見てアイスクリームを食べ、ゆったりとした時間が流れていました。予定より早めに戻った宿舎では、友達とおしゃべりやゲームをしてあっという間に時間が流れ…いよいよ夜の肝試し。全員で校長先生の怖い話(体験談)を聞いたら泣き出しそうな子どもたち。それでも真っ暗闇の中の肝試しは、忘れられない一番の思い出だと振り返る子が多かったです。

3日目。信州立岩・和紙の里に行きました。紙漉きを体験し、うちわを作成しました。思い思いに絵付けを行い、世界に一つしかないうちわを作りました。

帰りの道路も渋滞することなく、予定通り元気に学校に帰ってくることができました。

この3日間、時間を意識し協力して生活でき素晴らしい5年生でした。今回お世話になった多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、今後の学校生活を大切に過ごして欲しいと思います。

8・9月の生活目標

『きまりよい生活をしよう』

- ・学校のきまりを守ろう。
- ・廊下を静かに歩こう。
- ・学習の準備をきちんとしよう。



津久戸小学校 体罰根絶に向けたスローガン

大人でも 「こうあるべき」は 皆ちがう まして子供は 教えてやらねば

～分かるまで 繰り返し 教え諭す～ 教師の使命です！